

## 町民の声への回答

八頭町総合戦略の教育環境整備について下記のとおり回答させていただきます。

1. 小学校の数を8校から4校へ再編すると教育環境がどのように整備されるのか。老朽化や統合に伴う施設改修が教育環境の整備につながるのでしょうか。

回答 現在船岡地域・八東地域の小学校について複式学級が存在しており、児童の成長過程において、少人数であるための弊害が出ます。そうした児童の細やかな指導をする上でも必要と考えます。

また、校舎等が改修・整備によって学習環境が変化することにより、学習意欲の向上に役立つものと考えます。

2. 小中学校における少人数学級はすでに何年も前から取り組んでいる。今後5年間の戦略で掲げる事なのか。

回答 少人数学級を今後も取り組み、児童生徒に対する細やかな指導が必要と考えます。

3. ICTを利用した授業は今後力を入れるべき授業としてすでに位置付けているものではないか。

回答 ICT教育においてはハード機器・ソフトウェアの整備が必要であり、長期的な整備計画が必要と考えます。

4. すでに学校給食ではアレルギー対応を提供しているのではないか。なぜ今掲げるのか。

回答 アレルギー対応食についても今後も継続して実施し、保護者のニーズに応えるものとして記載しております。また、県内でもアレルギー対応の給食を提供している市町はわずかであり、児童生徒が楽しく給食を食べ、食育の重要性を認識させる上でも必要と考えます。

5. 上記をまとめて今後5年間の戦略としては新鮮さに欠け、今までどおりすでに行なっていることを続けていくだけとしか思えないが、どう考えるか。

回答 八頭町総合戦略は、過度な人口減少を抑止するための施策が多岐に渡って記載されており、八頭町の人口減少については、今後も続くと推計されているのはご承知のことと思います。そうした中で、都市部から八頭町に人を呼び込み、八頭町からの人口流出に歯止めをかけるための総合戦略として、八頭町民、流入者のニーズに応えるものと考えております。

また、総合戦略では、人口減少に対応する取組として、平成27年3月に策定した「人口減少対策ビジョン」も踏まえ、教育分野に限らず、新たに取り組む事項だけでなく、今後5年間で取り組むべき事項をまとめています。

総合戦略において八頭町の教育環境整備に掲げております、複式学級の解消、少人数学級の取り組み、食物アレルギー対応は環境整備の柱であり、八頭町教育の特色ある取り組みであります。このことを申し添えると共に、ご理解協力をお願いいたします。